名ライティングサマーキャンプ (大学院共通科目:アカデミック・ライティングと研究の倫理)

2015 年度報告書 I

日時:2015年9月2日(水)~9月6日(日) 4泊5日 場所:長野県松川青年の家(長野県下伊那郡松川町)

参加費:19,200円(24歳以下は宿泊費が1,200円安いため18,000円)

2015年度応募者数内訳

応募者数	28	名								
キャンセル	10	名								
参加者数	18	名								
参加率	64	%								

今回のサマーキャンプは初めて大学院共通科目の集中 講義(アカデミック・ライティングと研究の倫理)として実施された。2015年9月2日から2015年9月6日までの4泊5 日の日程で行われ、場所は昨年利用した施設(名古屋市

民おんたけ休暇村)から長野県松川青年の家に変更した。学生の自己負担は総額で 19,200 円(24歳以下は宿泊費が 1,200 円安いため 18,000 円)であった。負担額内訳は、主に宿泊費食費・Tシャツ・保険等の費用である。表1の通り、今回の参加応募者は計28名、キャンセルは計10名、参加者は計18名であった。キャンセルについて多くの理由が、学会など学業に関わる内容であった。教員2名を含め計20名でサマーキャンプを実施した。

以下は参加者数を、国籍、研究科、性別、学年別に表にしたものである。

表1. 国籍別参加者

双: 									
国籍	参加者								
日本	10								
中国	1								
アメリカ	1								
オーストラリア	1								
インドネシア	1								
ベトナム	1								
カンボジア	1								
スロバキア	1								
スウェーデン	1								
合計	18								

表2. 研究科別参加者数

<u> </u>	
研究科	参加者
国際言語文化	5
工学	3
生命農学	5
環境学	1
教育学	1
法学	1
情報科学	1
教育学部	1
合計	18

表3. 性別別参加者数

	参加者	(%)
男	8	44%
女	10	56%

図1. 国籍別参加者

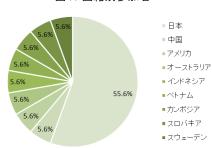


図2. 研究科別参加者数

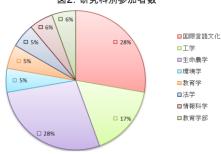


表4. 学年別参加者数

衣4. 于牛剂参加有数									
学年	参加者	(%)							
修士	11	61%							
博士	4	22%							
その他	3	17%							

2015 年度報告書 Ⅱ

過去4年間との比較:表5の通り、サマーキャンプは2011年度から始まり今回で5回目である。昨年に引き続き30名近くから応募があった。日本人学生は全体の46%である。

表5. 過去4年間と2015年度の応募者数比較

2011年度	応募総数	26	キャンセル	3	日本人:	12	46%
2012年度	応募総数	25	キャンセル	4	日本人:	12	48%
2013年度	応募総数	32	キャンセル	8	日本人:	13	41%
2014年度	応募総数	31	キャンセル	12	日本人:	14	45%
2015年度	応募総数	28	キャンセル	10	日本人:	13	46%

以下は応募者数を、国籍、研究科、性別に表にして比較したものである。

国籍 2011年 人数	2012年	2013年	2014年	2015年	5年間合計	5年間合計		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	5年間合計		
	人數	人數	人數	人數	人數	人数 割台	ì	研究科	人数	人数	人数	人数	人數	人数 割	슦
本	12	12	13	14	13	64	45%	生命農学研究科	5	4	8	2	6	25	
中国	9	7	5	2	1	24	17%	国際開発研究科	0	2	5	6	1	14	10
韓国	1	0	4	1	0	6	4%	経済学研究科	2	1	4	3	0	10	
アフガニスタン	0	0	2	2	1	. 5	4%	工学研究科	4	5	3	2	5	19	4
アメリカ	0	1	1	2	1	4	3%		T	3	·	}		-1	1,
ロシア	0	1	1	1	0	3	2%	国際言語文化研究科	2		3	11	6	. 29	20
キルギス	0	1	1	0	0	2	1%	理学研究科	2	<u> </u>	3	0	0	6	
マダガスカル	0	0	1	1	0	2	1%	文学研究科	3	0	2	0	0	. 5	- 4
バングラディッシュ	0	0	1	1	0	2	1%	医学系研究科	2	0	1	2	2	7	
ミャンマー	0	0	1	1	0	2	1%	環境学研究科	2	2	1	3	1	9	(
インドネシア	0	0	1	1	1	2	1%	多元数理科学研究科	0	0	1	0	0	1	
フィリピン	0	0	1	0	1	1	1%	保健体育科学センター	0	0	1	0	0	1	
ガボン	1	0	0	0	0	1	1%	教育発達科学研究科	0	0	0	1	1	2	
ケニア	1	0	0	0	0	1	1%	情報科学研究科	0	1	0	1	1	1 3	
ウズベキスタン	1	0	0	0	3	4	3%	法学研究科	1	0	0	0	4	5	
ベトナム	1	0	0	0	1	2	1%	ECIS	 	0	0	0	0	ĭ	
アルメニア	0	1	0	0	0	1	1%	学部生	2	<i>-</i>		0	<u> </u>	· '	
マラウイ	0	1	0	0	0	1	1%			2	0	, -			
スリランカ	0	1	0	0	0	1	1%	合計	26人	25人	32人	31人	28人	142	100
エクアドル	0	0	0	1	0	1	1%								
アルゼンチン	0	0	0	1	0	1	1%	表8. 性別過去4年間と20	15年度のと	比較				_	
オーストラリア	0	0	0	1	1	1	1%	性別	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	5年間合計	
台湾	0	0	0	1	0	1	1%	生列	人数	人数	人数	人数	人数	人数 割	슴
アゼルバイジャン	0	0	0	1	0	1	1%	男性	12	13	18	18	12	73	- 5
スウェーデン	0	0	0	0	1	1	1%	女性	14	12	14	13	16	69	49
スロバキア	0	0	0	0	1	1	1%	合計	26人	25人	32人	31人	28人	142人	100
レント	0	0	0	0	1	1	1%	ня	20/	₅ 20/	: 027	; VIX	: 207	1427	100
カンボディア	0	0	0	0	1	1	1%								
シリア	0	0	0	0	1	1	1%								
合計	26人	25人	32人	31人	28人	142人	100%								

